

# 第6学年 外国語科学習指導案

## 1 単元名

Unit 3 Let's go to Italy.

## 2 単元の見目標

- ～ is …., You can ～., It's ～.およびその関連語句などについて、理解している。また、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、～ is …., You can ～., It's ～.およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身につけることができる。(知識・技能)
- 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりすることができる。(思考・判断・表現)
- 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

## 3 単元構成の意図

本学級の児童の多くは、外国語科の学習に楽しく参加している。昨年度からの学習経験から、「伝えたい」「もっと話したい」という思いをもち、ALT や担任に英語での表現方法を積極的に質問し、表現しようとする児童もいる。一方で、恥ずかしさや照れ、自信のなさからなかなか声に出して表現するまでは至っていない児童もいる。

本単元では、自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由について、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることをねらいとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。

指導にあたっては、本単元のゴールを「旅行会社に行って自分の行きたい国のツアープランを作る」と設定し、単元全体の見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。全員が旅行会社のプランナー役になり、「おすすめの本のパンフレット」を作る。客役になったときには、パンフレットを参考にして自分のツアープランを作る。そのために、これまでに慣れ親しんできた表現について音声を聞いたり、やり取りをしたりして定着をはかっていきたい。ツアープランを作成するという必然性のある活動場面を設定することで、必要な表現を理解したり、身につけたりすることに夢中になって活動していくのではないかと考える。さらに、ペア、グループ活動を取り入れ、他教科と同様、外国語科においても表現方法のアドバイスをするなど、助け合って一緒に活動し、互いに学び合うよさを実感できるようにしていきたい。

## 4 単元の計画 (総時数8時間)

時	場面	学習活動 (夢中になって学んでいる姿)	資質・能力
1	音に出会う Starting Out	単元のゴールを知るとともに、世界の有名な建物や食べ物などについて言ったり、音声や映像から分かったことを発表したりする。	世界の有名な建物や食べ物などについて、短い話の概要を捉えようとしている。(主)
2			～ is …., You can ～., It's ～.およびその関連語句などについて理解することができる。(知・技)
3	会話に慣れる Your Turn	「国」や「食べ物」の言い方を練習し、おすすめの本の地域と、その理由についてたずね合う。	Why do you like ~?, You can ～., It's ～.およびその関連語句などについて理解することができる。(知・技)
4		社会科の地図帳やタブレットなどをもとに行ってみたいおすすめの本の有名なものを調べ、おすすめの本の理由をたずね合う。	行ってみたいおすすめの本の地域と、その理由について、お互いの考えや気持ちを表すことができる。(知・技)
5 6 本時	コミュニケーションを楽しむ Enjoy Communication	「おすすめの本のパンフレット」を作って、その本でしたいことを伝えながらやり取りをする。	行ってみたいおすすめの本の地域とそこでしたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを含め伝え合うことができる。(思・判・表)
7		「自分の行きたい本のツアープラン」を作る(誘う)ために、行きたい本でできることを発表したりたずねたりする。	行ってみたいおすすめの本の地域とその理由について、簡単な語句や表現を用いて、お互いの考えや気持ちを話すことができる。(思・判・表)
8	世界を広げる Over the Horizon	知っている日本の世界遺産を発表したり、行ってみたい世界遺産を発表したりする。	世界遺産について、簡単な語句や表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。(主)



単元を通して育成したい子どもの姿

「おすすめの本のパンフレット」を作って友達に話したり、その理由を伝え合ったりする活動を通して、自分のことを伝え、相手のことをよく知り、互いに学び合うよさを実感する姿

## 5 本時のねらい

行ってみたいおすすめの国や地域とそこでしたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを含め伝え合うことができる。


## 6 学習過程

	学習活動・内容 (T 主な発問・C 児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ◎研究主題に迫る手立て ◇評価
課題設定	<p>1 あいさつをする。 【Let's sing】 I want to go to Italy. ・ Let's sing に合わせて歌う。 【Small Talk】 What do you want to eat? ・ 教師と ALT のモデル会話を聞く。 ・ ペアで質問し合い、やり取りをする。</p> <p>2 本時のめあてをとらえる。 T 行きたい国の聞き方と答え方は? C Where do you want to go? I want to go to ○○. T 振り返りカードに書いていたことを発表してください。 C 友達の言ったことについて、リアクションもしたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>行きたい国でしたいことを伝えるために、どんなやり取りをすればよいだらう。</p> </div>	10 5	<p>○既習表現を使い体調、日付などについて英語でやり取りをする。 ○単元で使用される言語材料が網羅された歌を歌い、本時への学習への導入とする。</p> <p>◎振り返りカードや掲示物から、前時までの学習を想起したり、本時の学習内容に関わる児童の思いを取り上げたりして、本時のめあてにつなげる。</p>
課題解決	<p>3 本時のめあてを確認する。 (1) 行きたい国でしたいことの尋ね方、言い方を知る。 (2) 行きたい国インタビューパート2をする。 ・ 教師と ALT のモデル会話を見る。 T: 担任 A: ALT</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>T・A Hello. T Where do you want to go? A I want to go to ○○. T What do you want to do? A I want to see (eat) ○○. T Sounds good! T・A Thank you. Bye.</p> </div> <p>・ 全体でやり取りの仕方を確認する。 ・ インタビューをする。 T 友達とのやり取りで、よかったことはありましたか。 C リアクションをしていた。 C 聞き返していた。 C はっきり言っていた。</p> <p>(3) おすすめの理由の言い方を確認する。 ① 前時の学習を振り返る。 T 行きたい国でできることを伝えるのは、どんな言い方でしたか? C You can eat ○○. It's ~. You can see ○○. It's ~. ・ おすすめの国が同じ友達や近くの席の友達同士で、作ったツアープランを勧め合う。</p>	5 10 10	<p>○表現に自信のない児童でも視覚的にも確認できるように、色カードを使って、行きたい理由についての尋ね方や言い方を示す。 ○児童が本時の目指すやり取りの姿をイメージできるようにする。 ◎教師のやり取りのあと、段階を経て言い方を確かめ、やり取りへの自信や意欲をもつことができるようにする。 ○パンフレット作りで調べたおすすめ国の食べ物や場所を伝えることで、見たいものや食べたい物の言い方に慣れるようにする。 ◎途中でペアでのやり取りを紹介し、答えに反応したり、はっきり話したり、It's ~などの付け加えをしたりしていることを押さえ、自分の表現に生かしていくことができるようにする。 ◇行ってみたいおすすめ国や地域とそこでしたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを含めながら伝え合うことができたか。(観察)</p> <p>○友達がおすすめする理由の言い方を聞き、自分もおすすめするときに参考したいという気持ちを引き出す。</p>
振り返り	<p>4 本時のまとめをする。 (1) 本時のまとめをする。 What do you want to do? I want to see (eat) ○○. (2) 本時を振り返り、カードに記入する。 (3) あいさつをする。</p>	5	<p>○振り返りカードを活用し、自分や友達の学習のよさを振り返ることができるようにする。 ◎本時の学習でがんばったことを称賛し、次時への活動への意欲を高める。</p>

7 板書計画

④ 行きたい国でしたいことを伝えるために、どんなやり取りをすればよいただろう。

Q1

Where do you want to  ?

I want to   

ツアーパンフレット

Q2

What do you want to  ?  
do ?

I want to   .

I want to   .

I want to   .